

【第3号議案】

平成25(2013)年度事業計画

日本鑄造工学会は、平成24(2012)年度に創立80周年を迎えた。これを機に、定款第3条(目的)「鑄造工学に係る学術及び技術の振興を図り、日本及び世界のものづくり基盤産業の発展に寄与し、社会の豊かな生活を実現することを目的とする」に合致した公益事業をこれまで以上に活発に展開するべく、平成21(2009)年度に策定した長期ビジョンを振り返り、更なる飛躍を目指して第2期長期ビジョンの策定作業を開始した。今年度は新たに策定する第2期長期ビジョンのロードマップに基づき、新しい姿への飛躍の年として、今までにないさまざまな取組を進めていく。

公益事業としては、公1：鑄造工学に関する学術講演会、講習会等の開催事業、公2：鑄造工学に関する調査研究事業、公3：鑄造工学に関する表彰及び奨励事業、公4：鑄造工学に関する広報誌等発行による普及啓発事業、そのほか、他1：会員に頒布する図書発行事業の5つの区分にしたがって従来以上の活動を計画推進する。

今年度において実施を計画している事業は以下のとおりである。

1. 学術講演会、講習会等の開催事業(公1)

国内の鑄造業界においては、さまざまな課題が山積している。伝統的な鑄造技術を受け継ぎ、さらにそれらを発展させることのできる人材の育成、海外との競争力強化、経営基盤の強化、環境対策、さらに鑄造産業自体を広く国民に理解していただく努力も必要である。今後は一つの企業だけでなく、業界全体でこれらの課題に取組み、日本全体の利益に寄与していくことが重要となっていく。

2013年度は、全国講演大会を春季と秋季の2回開催し、今まで未発表の研究成果を発表し、討論を行う。同時に技術講習会、シンポジウム、若手鑄造技術者を中心とするYFE大会、さらに現場技術者の「現場目線での発表会場」を追加し、現場技術改善事例やQCサークル活動報告などを行う計画である。また鑄造関連工場の見学会、鑄造関連商品やその技術に関する展示会などの諸行事も同時に開催し、一般市民や会員にとっての交流の場をつくる。特別講演や招待講演として、韓国、中国などの鑄造工学会との交流講演や、国内要人の講演を計画している。これから将来を担っていただく方々を対象に、鑄物や鑄造技術を身近に感じることができるとも鑄物教室、体験教室や工場見学会により、鑄造産業自体を広く国民に理解していただく機会を設け、鑄造工学や鑄物製品に初めて触れ、それを端緒にして、鑄造技術を受け継いでいく人材の育成を図ることも寄与する。また、地域に密着したテーマを選び、講演会、講習会を実施していく。その他、関連団体との共催による講演会、講習会、研修会の開催を行う。

(1) 講演大会

①第162回全国講演大会

- | | |
|-----|---|
| 開催日 | 平成25(2013)年5月24日～27日 |
| 場所 | 山梨大学 甲府キャンパス(山梨県甲府市) |
| 行事 | a. 研究発表講演会
b. オーガナイズドセッション「現場技術改善事例」
c. 日中韓交流講演
d. 特別講演
e. パネルディスカッション
f. YFE(若手鑄造技術者)大会
g. こども鑄物教室
h. 工場見学会 |

- i. 懇親交流会
- j. 技術展示会

②第163回全国講演大会（社団法人日本鑄造協会との合同開催）

- 開催日 平成25（2013）年10月25日～28日
 場 所 高岡商工ビル・高岡 JA ビル（富山県高岡市）
 行 事 a. 研究発表講演会
 b. 技術賞，豊田賞受賞記念講演
 c. オーガナイズドセッション
 d. 特別講演
 e. こども鑄物教室
 f. 工場見学会
 g. 懇親交流会
 h. 技術展示会

③講演会

- a. 論文賞受賞記念講演を春季全国大会時に開催.
- b. 日下賞受賞記念講演を春季全国大会時に開催.
- c. 技術賞，豊田賞受賞記念講演を秋季全国大会時に開催.
- d. 日・中，日・韓交流講演を開催.
- e. YFE 講演会（東海支部 YFE 懇話会 12月 名古屋）
- f. 北海道支部講演大会（4月 旭川市）
- h. 加山記念講演会（関東支部4月 東京）
- i. 講演会（北陸支部 4月 富山県）
- j. 講演会（一社）日本鑄造協会北陸地区協議会との共催（北陸支部 石川県）
- k. 特別講演会（東海支部 4月 名古屋市）
- l. 若手討論会（東海支部 6月～12月 静岡県，愛知県）
- m. 特別講演会（東海支部 7月 名古屋市）
- n. 技術講演会（東海支部 9月長野県，11月三重県，2月静岡県）
- o. 名工大特別講義（東海支部 6月 名古屋市）
- p. 各部会講演会（東海支部 全11回 名古屋）
- q. 若手討論会（鑄鉄）（東海支部 6月～12月 長野県）
- r. 講演大会（関西支部 2回：春・秋）
- s. 中国・四国支部技術講演会（4月 広島市）
- t. 鑄造技術講演会（中国・四国支部 4月，12月）
- u. 地方講演会（中国・四国支部 平成26年2月）

(2) 技術講習会

- ①「近年の鑄造 CAE の発展と今後の展望」
平成25（2013）年5月24日（早稲田大学 西早稲田キャンパス）
- ②「材料強度に関する講習会」8月開催予定（本部 行事企画委員会主催）
- ③「未定」平成25（2013）年10月25日（富山県高岡市 高岡商工ビル）
- ④ 第11回夏期・鑄造技術講座（東北支部 9月）
- ⑤ 基礎講座（鑄鉄）（東海支部 9月刈谷市）
- ⑥ 基礎講座（非鉄）（東海支部 11月刈谷市）
- ⑦ 講習会（鑄造セミナー）（関西支部 1回）
- ⑧ 鑄造技術講習会（中国・四国支部 12月）
- ⑨ 技術講習会（東海支部 2014年3月 名古屋）
- ⑩ 中級講座（鑄鉄）（東海支部 2013年2月 刈谷）

(3) シンポジウム

- ① 研究部会の成果を報告するシンポジウムを2回開催する.

- (4) YFE 大会
 - ① YFE 大会（春季全国講演大会時 5月 山梨県甲府市）
 - ② 東北支部第 21 回 YFE 大会（11 月 山形県）
 - ③ YFE 発表大会（関西支部 12 月 学生，若手研究者・技術者による発表大会）
 - ④ 日韓 YFE 大会（本部 YFE 委員会）
- (5) 工場見学会
 - ① 工場見学会（東海支部 9 月長野県，2014 年 2 月 静岡県）
 - ② YFE 懇話会工場見学会（東海支部 6 月 静岡県）
 - ③ 研究部会工場見学会（東海支部 9 月未定）
- (6) こども鋳物教室
 - 「鋳物の日」共通企画実施（本部 YFE 委員会）
 - ① こども鋳物教室の開催（東海支部 7 月岐阜県）
 - ② 鋳物体験教室の開催（関東支部）
 - ③ こども鋳物教室開催（北陸支部 8 月福井県，10 月富山県，11 月 9 日石川県）
 - ④ こども鋳物教室の開催（YFE 社会貢献事業）（中国・四国支部 11 月）
- (7) 海外交流講演会
 - 日中韓交流講演の開催（5 月 25 日 甲府市）
- (8) 鋳造カレッジの開催（(一社) 日本鋳造協会に協力）（中国・四国支部 6 月開講）
- (9) 鋳造カレッジの開講（(一社) 日本鋳造協会に協力）（関東支部 6 月開講）
- (10) 鋳造カレッジ近畿地区でのインターンシップを開催（関西支部 6 月開講 鋳鉄コース，鋳鋼部門）
- (11) (一財) 素形材センターとの共催による研修講座，技術セミナーの開催

2. 鋳造工学に関する調査研究事業（公 2）

鋳造工学に関する各技術分野の専門家による，鋳造工学に関する研究，調査，技術交流事業を行う。下記の研究部会の研究成果，それに基づく研究報告書に関するシンポジウム等を開催し，その研究成果を公開する。調査研究の結果を実際の実務，業務に生かすため，鋳造に関する工場見学会を行うなど，現場での技術交流を深める。研究活動の成果は研究報告書として発行し，その有効活用に努める。広く鋳造工学に関する情報や資料の収集を行い，その技術的な研究を発表することで日本の経済，ものづくりの発展に寄与する。

- (1) 研究部会活動の推進と研究報告書，レビュー記事などの発表を行う。（2 回）
- (2) シンポジウムの開催による研究部会成果の公開を行う。（2 回）
- (3) 全国講演大会時にオーガナイズドセッションを開催し，ロードマップの発表と，部会活動の成果を報告する。（春季大会時）
- (4) 技術研究会（3 つのテーマ）を適宜開催する。（北海道支部）
- (5) 企画技術委員会を開催する。（北海道支部）
- (6) 鋳造技術部会（第 87 回 7 月，第 88 回 1 月 東北支部）
- (7) 現場鋳造技術研究会（企画委員会 1 回，研究会 3 回 関東支部）
- (8) 研究発表会（YFE と共催 2014 年 3 月 富山県 北陸支部）
- (9) 研究会（関西支部 7 回）
- (10) 支部研究発表会（中国・四国支部 12 月）
- (11) YFE 鋳造技術研究会（中国・四国支部 鋳造技術研究会 1 回，YFE 「いいもの」研究部会 2～3 回 広島市）
- (12) 九州鋳物研究会（九州支部 3 回），鋳物研究会 70 周年記念行事企画
- (13) YFE 研究会，勉強会（九州支部 1 回）

3. 表彰及び奨励事業（公 3）

将来の鋳造産業及び日本の製造業の発展のため，優れた業績を挙げた会員や一般市民には日本

鑄造工学会大賞をはじめ 10 種類の表彰を行う。昨年度から開始した、優れた鑄物の製造や開発に対するキャストイングスオブザイヤー賞をさらに充実させる。この他、学術講演会では研究成果を発表した学生の優秀講演に対する表彰の実施、鑄造関連企業に就職した大学等の卒業生に奨励賞制度を設けている。また、寄付金をもとに設定した基金から、若手研究者の研究助成、海外等での発表に対する活動支援、新東工業鑄造技術研究助成の制度により研究を支援する。

地域に密着した表彰及び奨励制度により、支部において選考された方々の表彰、奨励を行う。

(1) 表彰

a. 本部関係

日本鑄造工学会大賞（1件）、優秀論文賞（1件）、論文賞（2件）、クボタ賞（1件）、飯高賞（2件）、功労賞（7件）、技術賞（5件）、網谷賞（5件）、豊田賞（3件）、日下賞（3件）、キャストイングスオブザイヤー賞（2件）の授与

b. 支部関係

- | | |
|-------------|--|
| ① 北海道支部関係 | 支部貢献表彰実施 |
| ② 東北支部関係 | 大平賞、金子賞、井川賞、堀江賞の授与 |
| ③ 関東支部関係 | 功労賞、功績賞、現場技術改善賞の授与 |
| ④ 北陸支部関係 | 功労賞の授与 |
| ⑤ 東海支部関係 | 支部賞、奨励賞、堤記念賞、功労賞、特別功労賞
功績賞、技術賞、感謝状の授与 |
| ⑥ 関西支部関係 | 石野賞、功労賞、技術功労賞、研究奨励賞の授与 |
| ⑦ 中国・四国支部関係 | 片島賞、功労賞、支部奨励賞の授与 |
| ⑧ 九州支部関係 | 技能功労賞、技術奨励賞の授与 |

(2) 奨励

a. 本部

若手研究奨励（5名以内）、若手活動支援（2名以内）、新東工業鑄造技術研究助成（1名以内）

b. 支部

- | | |
|---------|-----------------|
| 東海支部 | 研究助成、研究部会助成の実施 |
| 関西支部 | 研究奨励、研究助成、奨学の実施 |
| 中国・四国支部 | 奨励の実施 |

4. 鑄造工学に関する広報誌等発行による普及啓発事業（公4）

学会誌「鑄造工学」を引き続き毎月発刊する。最新の研究論文、技術論文をはじめ技術報告、解説、連載講座、現場技術改善事例、レビューの他、鑄造業界の要人のインタビュー記事や Q&A コーナー、また昨年から新たに「シリーズ 戦中戦後の鑄造技術・研究と後進へのメッセージ」の連載を開始し、好評を博している。今年は4号及び5号から新連載講座を開始し、また特集を2回組み、研究者、技術者及び経営者のいずれの方々にも役立つ情報を掲載する。また英文誌「Materials Transactions」の8学協会との共同発刊に協力するとともに、本学会会員の投稿を積極的に推進する。

会誌は昭和32年の「鑄物」第1巻から現在「鑄造工学」第84巻まで、およそ80年間の記事の電子化を進め、J-STAGE へ登載及びホームページで閲覧できるよう進めてきたが、昨年度で完了した。これにより、インターネットで誰でも読んでいただけるようになった。

また、支部においては地域の会員などとの魅力ある活動の一環で、地域に特徴をもった支部会報の発行を進め、普及を図る。

(1) 学会誌「鑄造工学」の定期発刊

会誌「鑄造工学」第85巻第4号より第86巻3号までの12冊を発行する。

特集号を8月、12月に、連載を第85巻第4号より行う。

(2) 全国講演大会講演概要集を5月、10月に発行する。

(3) 技術講習会テキストを5月、10月に発行する。

- (4) シンポジウムテキストを2回発行する予定.
- (5) 研究報告書はNo. 112, No. 113 を発行予定.
- (6) 支部会報発刊 (北海道支部 第40号 平成25年4月)
- (7) 支部会報発刊 (東北支部 第49号 平成26年3月)
- (8) 支部会報 (関西支部 11月8日 鋳物の日の発刊)
- (9) 支部会報「こしき」36号の発行 (中国・四国支部 12月)

5. 会員等に頒布する図書発行业 (他1)

専門誌, 図書発行を行う. 当事業では, 鋳造研究者, 鋳造技術者向けに鋳造工学に関する専門誌を発行し, 会員はじめ鋳造関連技術者相互の利益を図る.

主に鋳造分野の特定領域について深く掘り下げた専門性の高い内容を図書としているもので, 多くの発刊が望めないものであるが, 鋳造分野においては必要不可欠な, 将来に残すべき内容をまとめて発刊する. その分野の先進の専門家が編集委員会を組織し, データの収集と編集を行う.

今年度は75周年記念に発刊し, 継続して好評である「鋳造欠陥とその対策」の英語バージョン発刊に向け, 翻訳作業を開始する.

- (1) 研究報告書, テキストなどの発行
- (2) 既刊刊行物の改訂版発刊の検討

6. その他, 本会の目的を達成するための事業

- (1) 国内関係
 - ① 日本工学会など関連学会との協力
 - ② (一社)日本鋳造協会, (一財)素形材センターと協力して各種研修会等を開催.
 - ③ 関連する工業会と支部との連携を強化する.
- (2) 国際関係
 - ① WFC2016 名古屋開催の国際鋳物会議組織委員会稼働開始
 - ② アジア鋳物会議への協力
 - ③ 中国鋳造学会, 韓国鋳造工学会との交流
 - ④ 来日外国学識者との交流
 - ⑤ 海外開催学会への派遣

7. 本会の法人管理・運営に関する事業

- (1) 平成25年度通常総会 (平成25 (2013) 年5月25日)
その他, 各支部において支部総会を開催 (4月 北海道, 東北, 関東, 北陸, 東海, 関西, 中国・四国, 九州支部)
- (2) 理事会の開催
 - a. 本部 6回開催
 - b. 支部 2~8回開催 (各支部)
- (3) 各種委員会の開催 (本部関係)
 - ① 企画委員会 (2回開催)
 - a. 本会活動の活性化のための諸企画を立案・推進.
 - b. 技術相談窓口を充実させる.
 - c. 鋳造関連団体との連携を強化.
 - d. (一財)素形材センターの「鋳造技術研修講座」への協力をを行う.
 - ② 行事企画委員会 (2回開催)
 - a. 支部活動行事を含む行事の企画を推進する.
 - b. YFE委員会と協力し, 鋳物のおもしろさを伝える活動を展開する.
 - ③ 編集委員会 (12回開催)
 - a. 魅力ある学会誌「鋳造工学」の発刊に向け, 掲載記事の充実を図る.

- b. 英文誌「Materials Transactions」共同刊行を推進する。
- ④ 国際関係委員会（2回開催）
 - a. 2016年世界鋳物会議開催（WFC2016名古屋）のための準備を推進する。
 - b. 世界鋳物会議（2014年スペイン ビルバオ），アジア鋳物会議（2013年台湾）などの運営・講演発表等参加。
 - c. 韓国・中国鋳造学会との交流推進。
 - d. WFO技術小委員会への参画。
- ⑤ 研究委員会（2回開催）
 - a. 研究報告書の編集を進める。
 - b. シンポジウムを開催する。
 - c. 研究ロードマップの推進を図る。
 - d. 全国講演大会時にオーガナイズドセッションを開催する。
- ⑥ YFE委員会（2回開催）
 - a. 「こども鋳物教室」，「鋳物体験教室」を企画，推進する。
 - b. 若手鋳造技術者，研究者による研究発表や技術交流を図る。
 - c. YFE講演大会を開催する。
- ⑦ 財務委員会（2回開催）
 - a. 財政強化のための施策を検討，推進する。
 - b. 会計業務の監督，指導を行い，財政の健全運営を図る。
 - c. 前年度に引き続き，更なる経費削減活動を推進する。
- ⑧ 人材育成委員会（4回開催）
 - a. （一社）日本鋳造協会との合同委員会により「鋳造カレッジ・中核人材育成事業」を推進する。
 - b. （一財）素形材センターの研修講座，技術セミナーの共催を推進する。
- ⑨ 広報委員会（4回開催）
 - a. 学会ホームページの定期的更新。
 - b. ホームページ上でのバーチャル鋳物博物館等を充実させる。
- ⑩ 長期ビジョン委員会（2回開催）（1回目4月26日）
 - a. 第2期長期ビジョンの立案と推進を行う。
 - b. 長期ビジョン小委員会で新たな取組みの論議と検証を行う。（小委員会10回開催）
- (4) 委員会（支部関係）
 - ① 企画技術委員会（北海道）
 - ② 広報委員会（関東）No.31支部便りを編集し，ホームページへ掲載公開する。
 - ③ 人材育成委員会（関東）3回開催 関東地区の鋳造カレッジ及び新人教育講座の開催を支援する。
 - ④ 企画委員会（北陸 3回）講演会，技術講習会，工場見学会，研究発表会などの行事を企画する。
 - ⑤ 研修講座運営委員会（関西（一財）素形材センターとの共催のもとで「鋳鉄の基礎と応用」を開催企画する 8月開催）
 - ⑥ YFE委員会（関西）12月に「学生・院生，若手研究者・技術者による発表大会」を開催，また工場見学会も計画する。

平成 25 (2013) 年度本部事業計画に関する事項

1. 総会に関する事項 (定款第 13 条)

平成 25 (2013) 年度通常総会は、平成 25 (2013) 年 5 月 25 日(土) 15 時 30 分より、山梨大学甲府キャンパス(山梨県甲府市)にて開催予定。

2. 表彰・奨励に関する事項 (定款第 4 条第 4 号)

1) 表彰

平成 25 (2013) 年度は、次の各賞を授与する。

日本鑄造工学会大賞	1 件	1 名
論文賞	3 件	10 名
クボタ賞	2 件	2 名
飯高賞	1 件	1 名
功労賞	7 件	7 名
技術賞	4 件	11 名
網谷賞	4 件	4グループ
豊田賞	3 件	3グループ
日下賞	3 件	3 名
Castings of the Year 賞		2 件

2) 奨励

- (1) 平成 25 (2013) 年度の日本鑄造工学会新東工業鑄造技術研究助成金を 1 名に授与する。
- (2) 平成 26 (2014) 年度に鑄造業関連に就職する大学等の卒業予定者で、支部からの推薦に基づき「奨励賞」を授与する。
- (3) 平成 25 (2013) 年度の「若手研究奨励助成金」を原則 5 名以内に授与する。
- (4) 平成 25 (2013) 年度の「若手活動支援金」を 2 名に授与する。

3. 全国講演大会 (定款第 4 条第 1 号)

1) 第 162 回全国講演大会及び諸行事に関する事項

日時：平成 25 (2013) 年 5 月 24 日(金), 25(土), 26(日), 27(月)

場所：山梨大学甲府キャンパス
山梨県甲府市武田 4-3-11

- 行事：(1) 研究発表講演会
(2) 論文賞受賞記念講演
(3) オーガナイズドセッション「現場技術改善事例」
(4) 日中韓交流講演
(5) 特別講演
(6) パネルディスカッション
(7) YFE (若手鑄造技術者・日下賞受賞記念講演を含む) 大会
(8) こども鑄物教室
(9) 工場見学会
(10) 懇親交流会

(11) 技術展示会

(12) エクスカーション

(13) 懇親ゴルフ大会

2) 第 162 回全国講演大会及び諸行事に関する事項

(一般社団法人日本鑄造協会との合同開催)

日時：平成 25 (2013) 年 10 月 25 日(金)～28 日(月)

場所：高岡商工ビル・高岡 J Aビル (富山県高岡市)

行事：(1) 研究発表講演会

(2) 技術賞・豊田賞受賞記念講演

(3) オーガナイズドセッション

(4) 特別講演

(5) こども鑄物教室

(6) 工場見学会

(7) 懇親交流会

(8) 技術展示会

(9) エクスカーション

(10) 懇親ゴルフ大会

4. 技術講習会に関する事項 (定款第 4 条第 1 号)

1) 「近年の鑄造 CAE の発展と今後の展望」

日時：平成 25 (2013) 年 5 月 24 日(金) 10:00～16:30

場所：早稲田大学西早稲田キャンパス

(東京都新宿区大久保 3-4-1)

2) 題目：未定

日時：平成 25 (2013) 年 10 月 25 日(金)

場所：高岡商工ビル

富山県高岡市丸の内 1-40

3) 「材料強度に関する講習会」 8 月開催予定 場所未定

5. シンポジウムに関する事項 (定款第 4 条第 1 号)

研究部会の成果を報告するシンポジウムを 2 回開催する予定。

6. 技術賞・豊田賞受賞記念講演会に関する事項 (定款第 4 条第 1 号)

受賞記念講演は秋季開催の全国講演大会時に行う。

7. YFE 活動に関する事項 (定款第 4 条第 1 号)

1) 第 23 回 YFE 大会

日時：平成 25 (2013) 年 5 月 26 日(日) 13:55～16:40

場所：山梨大学甲府キャンパス 第 6 会場【T1-32】

① 鑄造技士講演 2 件

② 新東工業若手研究助成特別講演 1 件

③ 日下賞受賞者講演 4 件

8. 国際会議に関する事項 (定款第 4 条第 1 号, 5 号)

- 1) 日・中・韓交流講演 5 月 25 日(土) 山梨大学甲府キャンパス

9. 出版に関する事項（定款第4条第4号）

1) 定期刊行物

会誌「鑄造工学」第85巻第4号より第86巻第3号まで12冊を発行予定、
特集号を8月、12月に、新連載講座を第85巻第4号及び第5号より開始する。

2) 全国講演大会講演概要集を5月及び10月の2回発行する。

3) 技術講習会テキスト

(1) 「近年の鑄造CAEの発展と今後の展望」を5月に発行予定。

(2) 題目未定 10月に発行予定。

(3) 題目未定（材料強度に関する講習会） 8月に発行予定。

4) シンポジウムテキスト

シンポジウムのテキストを、2件発行予定。

5) 研究報告書

No. 112より順次発行予定。

10. 各種委員会に関する事項（定款第5条-(6)項）

1) 企画委員会に関する事項

(1) 本会活動の活性化のための諸企画を立案・推進する。具体的に第2期長期ビジョン策定及び実施に向けた活動を推進する。

(2) 技術相談窓口を充実させる。

(3) 鑄造関連団体との連携の強化。

(4) (一財)素形材センターとの共催で「鑄造技術研修講座」を開催する。

2) 行事企画委員会に関する事項

(1) 第2期長期ビジョン策定と、具体的活動を各委員会と共同で企画推進。

(2) 支部活動行事を含む行事の企画を推進する。

(3) 本部主催の講習会を開催する。

3) 編集委員会に関する事項

(1) 掲載記事の多様化（連載記事、解説記事などの拡大・充実）を図る。

(2) 連載講座を基に、研修資料への展開を図る。

(3) 英文誌“Materials Transactions”共同刊行を推進する。

4) 国際関係委員会に関する事項

(1) 英文誌“Materials Transactions”共同刊行へ協力する。また、本英文誌へ本会員の研究論文が掲載されるよう支援する。

(2) WFC2016名古屋開催の国際鑄物会議組織委員会活動を加速する。

(3) AFC2013アジア鑄物会議（11月台湾開催）、WFC2014世界鑄物会議（2014年5月スペインビルバオ開催）での講演発表と参加準備。

(4) WFO技術小委員会への参画

(5) 日本・韓国・中国との鑄造工学会交流を推進する。

5) 研究委員会に関する事項

(1) 研究報告書を発行する。

(2) シンポジウムを開催する。

(3) 定期的に情報収集と研究ロードマップの見直しを行う。

(4) 各部会活動の進捗をフォローする。

(5) 全国講演大会でオーガナイズドセッションを開催する。

6) YFE委員会に関する事項

(1) 「こども鑄物教室」、「鑄物体験教室」を企画、推進する。

(2) 若手鑄造技術者、研究者による研究発表や技術交流を図る。

(3) YFE講演大会を開催する。

7) 財務委員会に関する事項

(1) 財政強化のための施策を検討・推進する。

(2) 会計業務の監督・指導を行い、財政の健全運営化を図る。

(3) 前年度に引き続き、更なる経費削減活動を推進する。

8) 人材育成委員会に関する事項

(1) (一社)日本鑄造協会との合同委員会により「鑄造カレッジ上級コース」の開設準備作業を推進。

(2) (一財)素形材センターの研修講座、技術セミナーの共催を推進。

9) 広報委員会に関する事項

(1) 学会ホームページの定期的更新。

(2) ホームページ上でのバーチャル鑄物博物館等を充実させる。

10) 長期ビジョン委員会に関する事項

(1) 第2期長期ビジョン策定に向けて、小委員会活動を推進する。

(2) 各担当委員会と共同で、新たな活動の企画立案と検証を行う。

(3) 第2期長期ビジョン(案)を策定する。

平成25(2013)年度支部事業計画に関する事項

1) 北海道支部

1. 支部大会

支部講演大会を2013年4月19日(金)旭川市にて開催を予定

2. 企画技術委員会

適宜開催

3. 技術研究会

鑄造技術研究会(長船主査)、鑄造技術教育研究会(戸羽主査)、非鉄鑄物の高度化技術研究会(柴田主査)を適宜開催する。

4. 支部編集委員会
支部会報第 40 号の発行 2013 年 4 月末発行予定
ニュースレター 11 号の発行 2014 年 1 月末発行予定
5. 支部理事会
定例支部理事会は 2014 年 1 月末または 2 月始めに実施。
- 2) 東北支部
- (1) 理事会
平成 25 年度定例理事会
開催日：平成 26 年 3 月下旬予定
開催場所：未定
- (2) 支部大会
第 43 回秋田大会
開催日：平成 25 年 4 月 24 日～25 日
開催場所：秋田県
- (3) 鑄造技術部会
- 1) 第 87 回鑄造技術部会
開催日：平成 25 年 7 月 24 日 (水)
開催場所：盛岡地域交流センター (マリオス)
- 2) 第 88 回鑄造技術部会
開催日：平成 26 年 1 月下旬予定
開催場所：山形県を予定
- (4) 東北支部第 21 回 YFE 大会
開催日：平成 25 年 11 月上旬予定
開催場所：山形県を予定
- (5) 第 12 回夏期・鑄造技術講座
開催日：平成 25 年 9 月上旬予定
開催場所：未定
- (6) 支部会報
第 49 号は、平成 26 年 3 月上旬発行予定
- 3) 関東支部
1. 幹事会・理事会
・理事会を 5 回、幹事会を 5 回、顧問会を 1 回開催する。
2. 総会
・平成 25 年度通常総会を、平成 25 年 4 月 18 日(木)に日立金属高輪和彊館において開催する。
3. 加山記念講演会
・平成 25 年 4 月 18 日(木)に日立金属高輪和彊館において第 25 回加山記念講演会を開催する。
講演題目：開発は不可能を可能にする
講師：日本ルツボ株式会社 取締役会長
岡田民雄氏
4. 研究委員会
・支部講演会を 2 回、加山記念講演会を 1 回開催する。
・第 162 回全国講演大会技術講習会にて「近年の鑄造 CAE の発展と今後の展望」を実施する。
5. 現場鑄造技術研究会
・企画委員会を 1 回、研究会を 3 回開催する。
6. YFE 企画委員会
・全国講演大会に合わせて YFE 大会の開催ならびに子供いもの教室を開催する。
・工場見学会 (勉強会共催) を 2 回開催する。
・鑄物体験教室 (子供いもの教室) を開催する。
7. 広報活動
・これまでのコンテンツを中心に毎月記事を集めて更新する。
・会誌「鑄造工学」の現場技術改善事例の執筆依頼候補 12 社を選定し本部編集委員会へ推薦するとともに、各企業に執筆を依頼する。
・平成 24 年度支部活動をまとめて No. 31「支部便り」を編集してホームページへ掲載する。
・会誌「鑄造工学」の〈支部だより〉の執筆：平成 24 年度の活動状況を「関東支部活動報告」として掲載する (Vol. 85(2013)5 月号)。
・平成 25 年度の活動状況について、平成 26 年 3 月頃に投稿する。
8. 人材育成委員会
・委員会を 3 回開催する。
・日本鑄造協会主催の関東地区の鑄造カレッジ及び鑄造入門講座の開催を支援する。
9. 第 162 回全国講演大会
・山梨大学甲府キャンパスを中心として平成 25 年 5 月 24 日～5 月 27 日まで開催する。
- 4) 北陸支部
- (1) 総会 (YFE と共催)
総会を 1 回 (2013 年 4 月下旬の予定) 開催し、前年度の決算報告、当該年度の前算と計画している行事の説明をするとともに、出席者から意見を募り、支部運営の全般について議論し、意見集約する。
- (2) 理事会 (YFE と共催)
支部運営全般に関する議論と方針の決定のために、4 回開催する。
- (3) 企画委員会 (YFE と共催)
支部講演会、支部研究発表会などの支部主催行事の具体的内容を企画するために、3 回開催する。
【2013 年度は全国大会開催のため、例年開催している支部技術講習会及び支部工場見学会は休止】
- (4) 支部講演会 (YFE と共催)
開催日：2013 年 4 月下旬の予定
開催地：富山県
内容：企画委員会でテーマを検討し、それに即した講師 (2 名程度) を招聘する。

- (5) 支部技術講習会 (全国大会開催のため休止)
 (6) 支部工場見学会 (全国大会開催のため休止)
 (7) 支部研究発表会 (YFE と共催)
 開催日：2014年3月の予定
 開催地：富山県
 内 容：企画委員会でテーマを検討し、それに即した研究を行っている支部会員あるいは支部外の講師に発表していただき、支部内の研究活動の活性化を図る。

- 内 容：全国大会会場にてポスターなどを展示し、北陸支部が開催した「こども鋳物教室」などの事業を紹介する。
 開催日：2012年11月9日(土)の予定
 開催地：石川県の予定
 内 容：「素形材月間」関連事業として実施。鋳造技術を使った日用品作製を体験してもらい、鋳造とその関連技術の理解促進に努める。

- (8) YFE こども鋳物教室
 開催日：2013年8月の予定
 開催地：福井県の予定
 内 容：(財)福井県産業会館が主催する「おもしろフェスタ in サンドーム福井」にて「こども鋳物教室」を開催し、鋳造技術を使った日用品作製を体験してもらい、鋳造とその関連技術の理解促進に努める。
 開催日：2013年10月(全国大会(高岡)開催期間中)
 開催地：富山県

- (9) (一社)日本鋳造協会北陸支部との共催事業
 開催日：2013年3月の予定
 開催地：石川県の予定
 内 容：講演会と懇親会を共催する。北陸地区の企業または公的機関、北陸地区外から講師を招聘し、鋳造業界のトレンド、最新研究動向、経済状況予測などをご講演いただき、北陸地区内の活性化の一助にするとともに、会員相互の情報交換の場を提供する。

5) 東海支部

開催年月	地 区	行事内容	内 容 詳 細
4月12日(金)	名古屋	総 会	1. 支部総会 2. 支部表彰式
4月12日(金)	名古屋	特別講演会	1. 特別講演会
6月	静岡県	YFE 懇話会 工場見学	1. 工場見学
6月	名古屋	非鉄鋳物研究部会 講演会	1. 講演会
6月	名古屋	先端プロセス研究部会 講演会	1. 講演会
6月14日(金)	名古屋	名工大特別講義	1. 特別講義
6月～12月	静岡県	若手討論会	1. 若手技術者討論
6月～12月	愛知県	若手討論会	1. 若手技術者討論
6月～12月	長野県	若手討論会(鋳鉄)	1. 若手技術者討論(鋳鉄)
7月	名古屋	鋳鉄鋳物研究部会 講演会	1. 講演会
7月19日(金)	名古屋	特別講演会 (懇親会)	1. 特別講演会 2. 懇親会(ビヤパーティー)
7月	岐阜県	YFE 懇話会 子供いもの教室	1. 子供いもの教室
9月7日(土)	刈谷	基礎講座(鋳鉄)	1. 基礎講座(鋳鉄)
9月	長野県	技術講演会	1. 技術講演 2. 研究部会報告 3. 現場技術発表
9月	長野県	工場見学	1. 工場見学
9月	未定	鋳鉄鋳物研究部会 工場見学	1. 工場見学
9月	名古屋	非鉄鋳物研究部会 講演会	1. 講演会
9月	名古屋	先端プロセス研究部会 講演会	1. 講演会
11月16日(土)	刈谷	基礎講座(非鉄)	1. 基礎講座(非鉄)
11月	三重県	技術講演会	1. 技術講演

				2. 研究部会報告 3. 現場技術発表
12月	名古屋	鑄鉄鑄物研究部会 講演会		1. 講演会
12月	名古屋	非鉄鑄物研究部会 講演会		1. 講演会
12月	名古屋	先端プロセス研究部会 講演会		1. 講演会
12月	名古屋	YFE 懇話会 フォーラム		1. 講演会 2. ポスターセッション 3. 交流会
平成26年2月	静岡(静岡地区)	技術講演会		1. 技術講演 2. 研究部会報告 3. 現場技術発表
平成26年2月	静岡(静岡地区)	工場見学		1. 工場見学
平成26年2月	刈谷	中級講座(鑄鉄)		1. 中級講座(鑄鉄)
平成26年3月	名古屋	鑄鉄鑄物研究部会 講演会		1. 講演会
平成26年3月	名古屋	非鉄鑄物研究部会 講演会		1. 講演会
平成26年3月	名古屋	先端プロセス研究部会 講演会		1. 講演会
平成26年3月	名古屋	YFE 懇話会 技術講習会		1. 技術講習会
平成26年4月	名古屋	総会		1. 支部総会 2. 支部表彰式
平成26年4月	名古屋	特別講演会		1. 特別講演会

6) 関西支部

期間活動スローガン

会員及び賛助会員の行事参加への推進

重要課題

若手鑄造技術者の育成

産学連携の強化

(1) 通常会合

支部運営のために下記役員会および委員会を開催する。

顧問会(1回), 理事会(5回), 運営連絡会(適宜), 企画・資金・総務各担当理事会(適宜), 研究運営委員会(1回), 表彰選考委員会(1回), 奨学賞選考委員会(1回)

(2) 支部総会, 代議員会および講演大会

年2回(春・秋)講演大会を開催し, 支部会員の研究発表, 各研究会活動状況の報告, および特別講演を行う。

尚, 春季支部大会には代議員会・総会を開催するとともに, 支部功労賞, 支部技術功労賞, 研究奨励賞, 石野賞, 研究奨励助成金の授与を行う。

(3) 支部研究会

平成23年度の研究会組織改革により発足した関西鑄造懇話会を(3回)開催する。消失模型研究会は今後も支部の研究会としての特徴を出しながら(4回)開催する。各研究会は別項に示す計画に基づき活動する。支部活性化に向けた研究会の

あり方を見直しする。

関西鑄造懇話会 委員長 毛利勝一氏

イ. 研究会開催回数 3回

第7回(平成25年6月14日(金))

第8回(平成25年9月27日(金))

第9回(平成26年1月24日(金))

ロ. 研究テーマ

鑄造工学に関連する基礎的な技術議論のみならず先端的な研究開発についても理解を深める。また, 支部会員相互の交流のため名刺交換交流会を開催する。なお, 委員長団4名, 幹事団10名で企画運営した平成23, 24年度方式を平成25年度も踏襲する。第7回(6/14)以後のテーマは未定である。

消失模型鑄造法 研究会委員長 池永 明氏

イ. 研究会開催回数 4回

(4) 講習会(鑄造セミナー) 1回

鑄造技術に関する最近の問題点や技術の動向を取り上げ, 数名の講師による講演と討論を企画。

(5) 例会

本年度は全国講演大会開催の前年度で準備作業を行うため, 休止する。

(6) 広報委員会

平成24年4月1日の本部ホームページ更新に伴い, 今年度も支部のホームページを充実させ支部及び本部行事の広報活動を継続。(平成24年11月13

- 日、支部ホームページをリニューアル)
 支部ホームページ・アドレス:
<http://www.jfs-kansai.jp/>
 日本鑄造工学会のホームページ・アドレス:
<http://www.jfs.or.jp/>
- (7) 関西支部報発行プロジェクト委員会
 昨年度からの継続として、支部活動活性化の為、
 鑄物の日(11月8日)発刊に向けプロジェクト委
 員会を発足し推進を図る。
- (8) 研修講座運営委員会
 平成25年度も、公益社団法人日本鑄造工学会関西
 支部では(一財)素形材センターと共催のもとで、
 「鑄鉄の基礎と応用」を8月頃に実施する予定。
 詳細は(一財)素形材センターの研修委員会で決
 定することになるが、支部新活動運営委員会とし
 ては、関西地区の鑄鉄講座はここ数年定着してき
 ており、参加者も安定して確保できることから、
 昨年とほぼ同様の講座を行うことを申し入れて進
 めていくことにする。
- (9) YFE委員会
 ①YFE委員会
 「学生・院生、若手研究者・技術者による発表大
 会」(YFE発表大会)
 日時:平成25年12月
 研修・勉強・研究のための活動であると同時に、
 学生、若手技術者、技能者、研究者によるネット
 ワーク作りの一環として行いたい。
 ②会社見学会(日時未定)。
- (10) 鑄造中核人材育成事業
 目的:将来の工場長や経営幹部となる人材の育成。
 平成25年度は鑄造カレッジ鑄鉄コース及び鑄鋼
 コースインターンシップの実施
 実施期間 平成25年6月～平成26年2月
- (11) 産学連携を強化
 関連する工業会と支部との連携を強化、親睦を図
 るため交流会を実施する。
- (12) 会員増強活動
 目標達成のためのWG設置を継続
 本部会員増強計画に連動して、支部会員の増強候
 補企業の絞込みを行い、具体的な行動計画を立案。
 鑄造技師の会合を組織化する事、技師会を設ける。
 また、退会対応策を計画、実行する。
- (13) 他支部との交流
 他支部と交流を密にして支部の活性化を図る、そ
 して姉妹化も計画する。
- (14) 全国大会
 全国講演準備委員会を発足させる。
- (15) その他
- 7) 中国四国支部
 (1) 支部総会・支部表彰
 1回 4月23日(於、広島市工業技術センター)
 (2) 理事会
 1回 4月23日(於、広島市工業技術センター)
 (3) 常任理事会
 4回 4月上旬、7月、9月、1月
 (4) 鑄造技術講演・講習会
 2回 4月23日、12月
 (5) 支部研究発表会
 1回 12月(於、*****)
 (6) YFE事業
 ・代表者会議 1回 1～3月
 ・鑄造技術研究会 1回 7～9月
 ・いいもの研究部会 2～3回 7月、3月
 ・鑄物教室 1回 10～11月(於、*****)
 (7) 地方講演会 1回 2月
 (8) 支部会報「こしき」36号の発行 12月
 (9) その他
 ・第162回全国講演大会(予定)
 開催日:平成25年5月24日～27日
 開催地:山梨大学
 ・第163回全国講演大会(予定)
 開催日:平成25年10月25日～28日
 開催地:高岡市
 ・鑄造カレッジ中国四国地区の開催(予定)
 開催:平成25年6月～平成26年2月
 場所:広島県鑄物工業協同組合
- 8) 九州支部
 (1) 平成25年度支部総会、表彰式、第66回講演大会
 1) 総会
 日時:平成25年4月3日(水)
 場所:福岡県工業技術センター 機械電子研
 究所
 2) 表彰式:技能功労賞、技術奨励賞を授与する予
 定。
 3) 第66回講演大会:研究発表。
 (2) 支部理事会、代議委員会
 1) 支部理事会:3回開催する予定。
 2) 支部代議委員会
 日時:平成25年4月3日(水)
 場所:福岡県工業技術センター 機械電子研
 究所
 (3) 九州鑄物研究会
 1) 研究会として3回開催する予定
 2) 鑄物研究会70周年記念行事(平成26年度開催)
 に向けて企画立案。
 (4) 全国講演大会準備委員会

1) 日本鑄造工学会第 165 回全国講演大会に向けて
企画立案.

日 時:2014 年 10 月 17 日(金)～20 日(月) (予定)

17 日(金)技術講習会, 18 日(土)～19 日(日)講演会,

20 日(月)工場見学

場 所 : 北九州国際会議場

(北九州市小倉北区浅野 3-9-30) (予定)

(5) 支部 YFE 活動

1) YFE 幹事会

2) YFE 勉強会